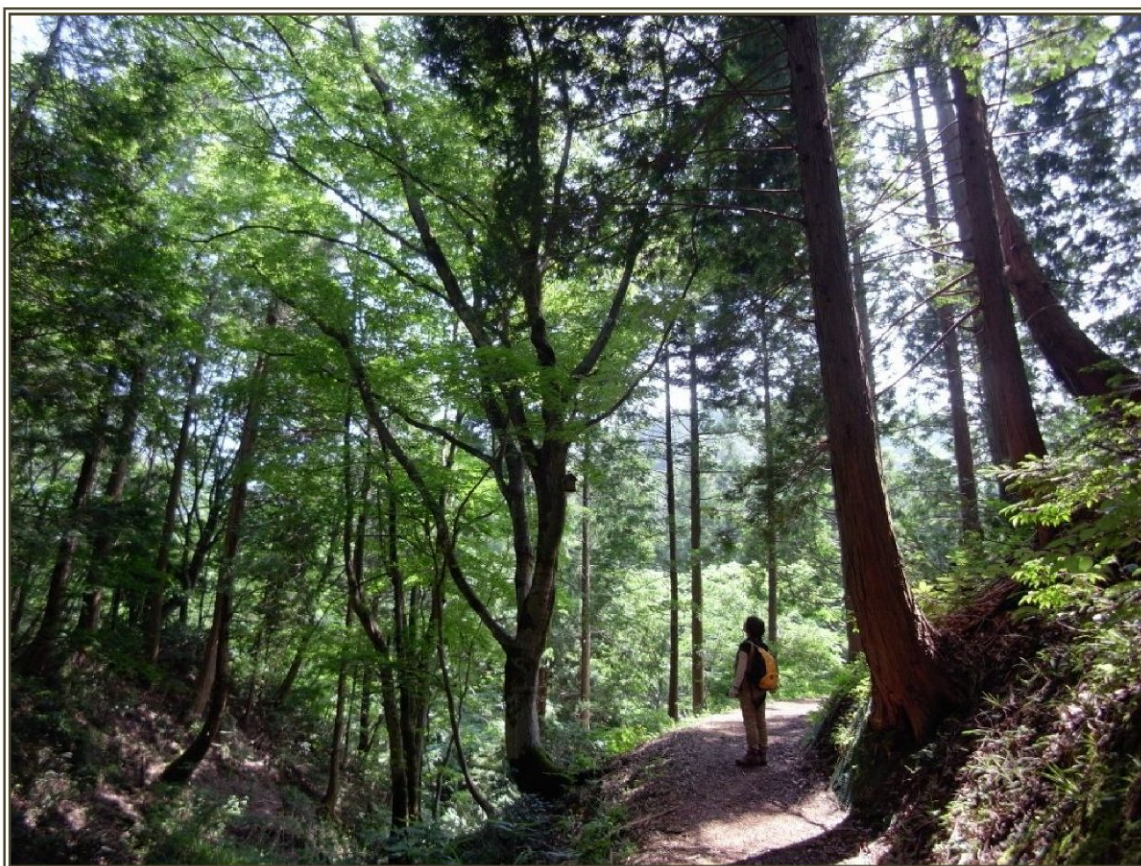


# 道づくりだより

第44号

2011.10 島根県道づくり調整会議



森林セラピーロード(飯南町)

## Contents

1. 県民の森林道「小田線」の紹介 (森林整備課)
2. 大仁トンネルの補修が完了しました。(農地整備課)
3. 山陰自動車道建設促進期成同盟会が  
国土交通省に山陰道建設促進の要望を行いました。(高速道路推進課)
4. 山陰自動車道建設促進島根県民総決起大会が開催されました。(高速道路推進課)
5. 全国の道路の規制情報は、日本道路交通情報センターが便利です。(道路維持課)



# 県民の森林道「小田線」の紹介

## I 「県民の森」の概要

林道「小田線」がある県有林（和恵団地774ha）は、飯石郡飯南町小田にあり、草の峠（1,005m）から南西（草ノ城山～琴引山）へ山稜をなし、南東からは指谷奥山（1,048m）の峯を最高峰として、指谷山等の山稜が連なり広島県庄原市との県境に接します。植生は谷筋から標高800mまではスギ、ヒノキが造林され、人工林率は約6割を占め、それから上部の峯筋にはブナ、ミズナラ等の天然広葉樹林が密生しており、「県民の森」として広く県民に開放されています。

和恵県有林の入口から上流へ向けて約1kmの間、特に小田川右岸側は小田川コース、山野草園等を中心とする森林セラピーロードが整備され、平成19年3月には山陰初となる「森林セラピー基地」として認定されました。

また、「木地屋橋」に隣接する「もりのす」（飯南町経営）を拠点として、森とのふれあいに訪れる観光客は、年間約8千人にもなります。

※「県民の森」島根県県有林（1,689ha）のうち、和恵（774ha）・頓原（492ha）・吉田（392ha）の県有林



## II 小田線改良工事の概要

林道「小田線」は和恵県有林を南北に二分する形で北東に伸びています。起点部の「土打橋」から終点までは、延長 6,700m（幅員4.0m）の2級林道です。

開設から50年以上が経過し、近年、起点部の「土打橋」と上流の「木地屋橋」が老朽化していたため、掛け替え工事を行うとともに、さらに上流部の林道法面で落石対策の工事を行っています。

- 【事業主体】 島根県
- 【事業箇所】 飯石郡飯南町小田
- 【事業内容】 事業期間：平成21年度～平成24年度
  - ・橋梁改良（2橋）土打橋 L=11.0m、木地屋橋L=21.0m
  - ・法面改良（延長 L=391m、面積 A=約4,700㎡）

おおに  
大仁トンネルの補修が完了しました

大仁農道の大仁トンネルは、完成から約 30 年近くが経過し、覆工コンクリートの地山との空洞化や剥落、照明設備の腐食が目立つようになったため、平成 21 年度から補修工事を行っていましたが、この度、その工事が完了しました。

『しまねの農業農村整備すごろく』  
キャラクター ドジョウのどうじょ君



大仁トンネルの現状

大仁農道は、雲南市大東町小河内の主要地方道大東東出雲線から仁多郡奥出雲町中村の一般県道横田伯南線に至る延長 27,878m の広域農道で、農産物等の輸送だけでなく、集落間及び市街地と農村部を結ぶ生活道路としても重要な役割を果たしています。

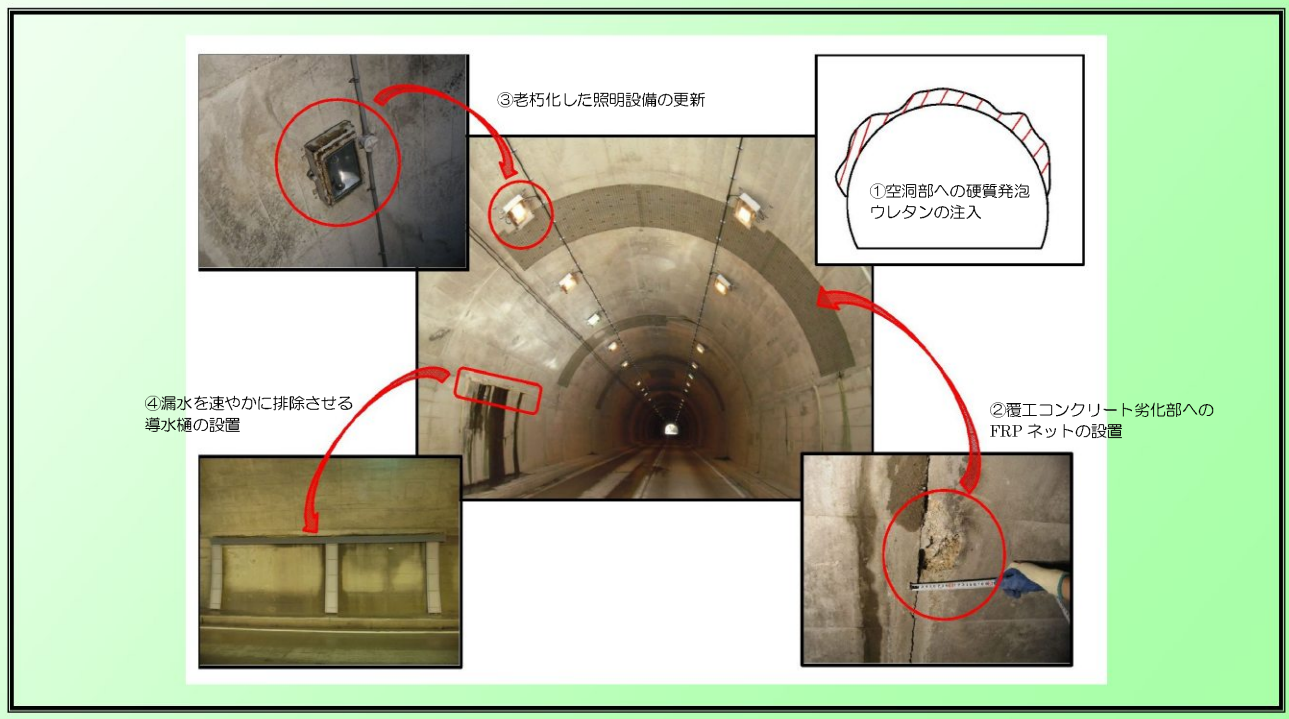
このうち、雲南市と奥出雲町との境界に位置する大仁トンネル(L=340m)は昭和 57 年の完成後、約 30 年の月日の経過により覆工コンクリートと地山間の空洞化、剥落、照明設備の腐食等が進行し通行への危険性が高まっていました。

このため、道づくりだより第 20 号(2009.10)で紹介したように、平成 21 年度から裏込注入等の対策を実施してきましたが、この度、これらの補修工事が完了しました。

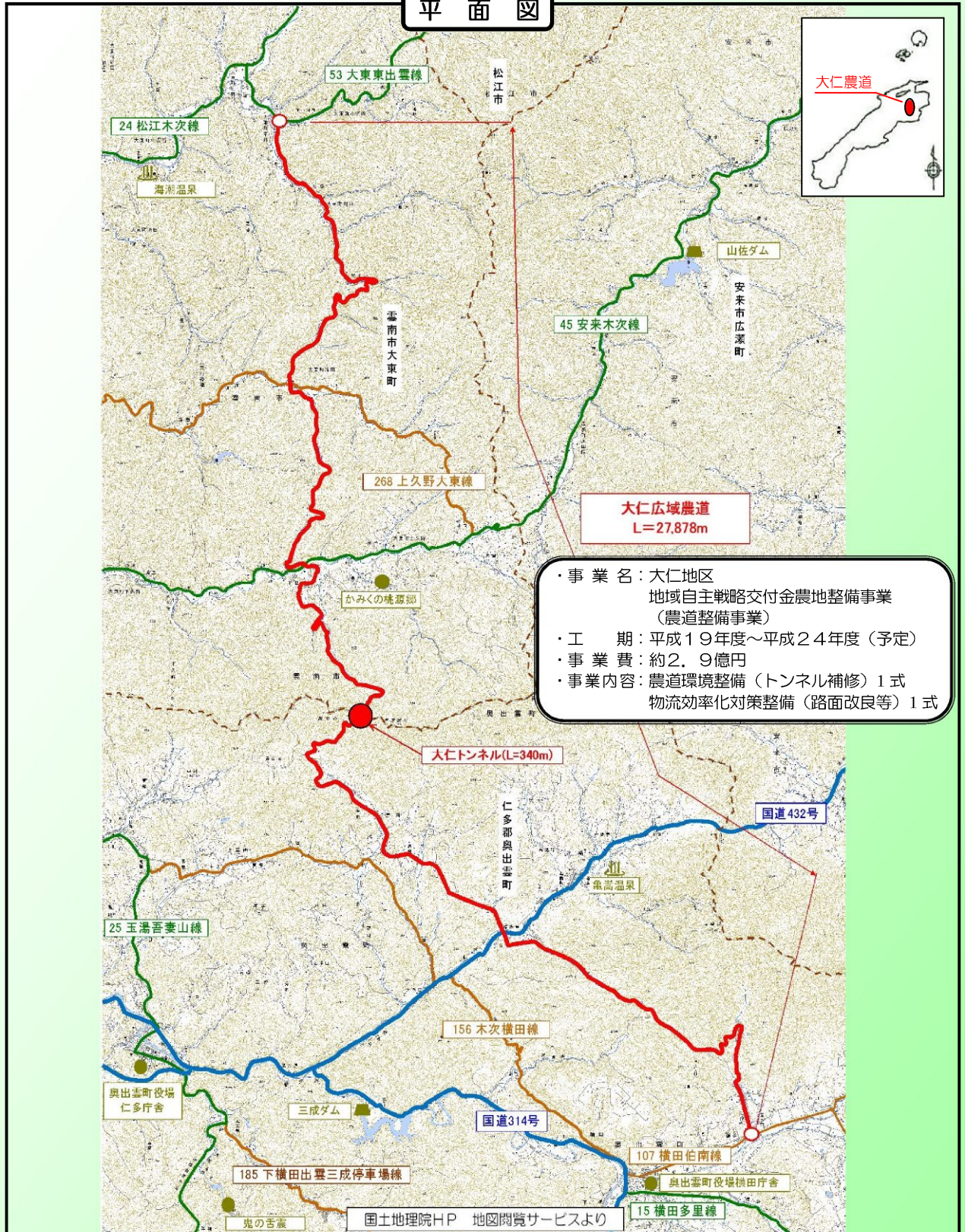
工事内容

- ①地山からの偏土圧をなくすため覆工コンクリートと地山との空洞へ硬質発泡ウレタンを注入
- ②覆工コンクリート劣化部の剥落を防止するため FRP(繊維強化プラスチック)ネットを設置
- ③老朽化により性能低下した照明設備を更新
- ④漏水を速やかに排除するため導水樋を設置

これらの施工により通行者の安全確保及びトンネルの長寿命化を図ることができました。



平面図



- ・事業名：大仁地区  
地域自主戦略交付金農地整備事業  
(農道整備事業)
- ・工期：平成19年度～平成24年度(予定)
- ・事業費：約2.9億円
- ・事業内容：農道環境整備(トンネル補修)1式  
物流効率化対策整備(路面改良等)1式

県内には、大仁農道の外にも完成から数十年経過した農道があり、橋梁等の補修や耐震化補強が必要となっているため、今後も市町村と連携して、こうした農道施設の保全対策に取り組んでいきます。

## 山陰自動車道建設促進島根県民総決起大会 が開催されました。

山陰道（安来－益田間）の沿線市などで組織する期成同盟会主催の「山陰自動車道建設促進島根県民総決起大会」が、10月15日（土）、江津市（地場産業振興センター）で開催されました。大会には、溝口県知事の他、細田衆議院議員、竹下衆議院議員、青木参議院議員、県議会議員などが出席、一般参加者を含めた約300名が、整備が遅れている山陰道の早期全線整備を強く県内外にアピールしました。

同盟会会長の長岡出雲市長は「県内山陰道の整備率は45%と著しく整備が遅れており、未事業化区間を50キロ近くも残している。」と現状を説明し、「我々の山陰道全線開通への熱い思いを中央に届けていく事に何より意義がある。」と述べました。また、溝口知事は「高速道路は基幹的なインフラであり、教育や社会保障と同じく、どこにいても同じようなサービスが享受されなければならない。地方への分散を進め、国土が豊かになるために全国公平に整備されるべきであり、我々が結集して山陰道の早期建設に向けて頑張っていこう。」と訴えました。

続いて行われた基調講演では早稲田大学大学院客員教授大石久和氏が、他国の道路整備の状況、公共事業費の推移などを紹介しながら、「我が国は道路整備が他国と比較しても十分でないにも関わらず公共事業費を削減し続けている。」と指摘、「次の世代のために山陰道のような社会基盤を残していく責務がある。」と話されました。また、意見発表として山陰道の早期建設に向け地元で活動している女性の会会長平下洋子氏が、昨年度取り組んだ「山陰道夢パンフ」の作成作業、成果を紹介しながら、日々生活していく上での高速道路の必要性を訴えました。

大会の最後には、参加者全員で「ミッシングリンクの解消に必要な予算を確実に確保すること」、「未着工区間を早期に事業化すること」などを盛り込んだ決議文を採択し、ガンバロウ三唱で山陰道全線開通に向けて気勢を上げました。



※大会決議において、長年の悲願である山陰道の全線開通の一刻も早い実現を期して、県民総意のもと、次の事項を強く求めることとされました。

1. 高速道路ネットワークは、国が国民に等しく保障すべき基礎的サービスであり、国の責任において早期に整備すること。
2. 整備の遅れに強い危機感を持つ地方の声に応え、ミッシングリンクの解消に必要な日本再生重点化措置等の予算を確実に確保し、遅れている山陰道の建設に重点的に配分すること。
3. 現在整備中の「出雲湖陵道路」、「多伎朝山道路」、「朝山大田道路」、「静間仁摩道路」、「仁摩温泉津道路」、「浜田三隅道路」、「益田道路」の建設を促進し、早期に完成させること。
4. 未着工区間である「湖陵・多伎間」、「大田・静間間」、「温泉津・江津間」、「三隅・益田間」、「益田・萩間」を早期に事業化し、ミッシングリンクの解消を図ること。

**山陰自動車道建設促進期成同盟会が国土交通省に山陰道建設促進の要望を行いました。**

10月13日（木）山陰自動車道建設促進期成同盟会（島根県、鳥取県、山口県の三県知事で構成、会長は溝口善兵衛島根県知事）により国土交通省において山陰道建設促進の要望を行いました。この中で、山陰道が鳥取市から下関市を東西に結ぶ唯一の高規格幹線道路であり、地域の安全・安心な生活を守るとともに、地方の交流拡大による広域的な産業・経済の振興など、地域が自立的な発展を図る上で必要不可欠な道路であること、そのため山陰道の整備を着実に進めてほしいという趣旨の要望を行いました。

対応した松原国土交通副大臣は「趣旨については理解をしており、検討をすすめていきたい」とのことでした。

（下写真は当日の要望の様子）

右から松原国土交通副大臣、溝口島根県知事、平井鳥取県知事、岡田山口県副知事



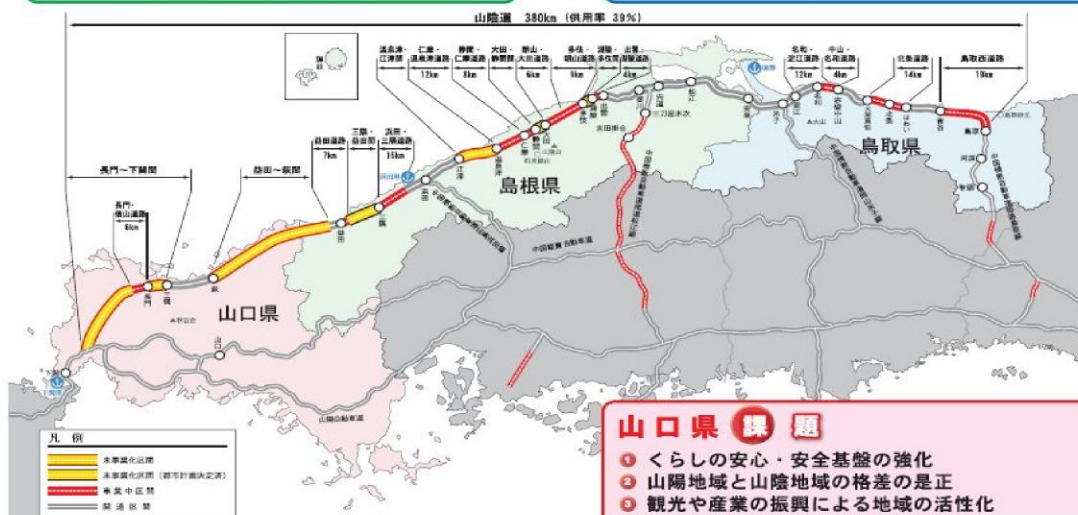
**山陰道の整備は日本全体が豊かになるための基礎的な社会資本**

**島根県 課題**

- ① 災害、事故等の代替路としての機能確保
- ② 企業立地に向けた環境の整備促進
- ③ 広域観光ルートの形成

**鳥取県 課題**

- ① 大規模災害に強い高速道路ネットワークの形成
- ② 産業や観光振興における競争力の強化
- ③ 北東アジアゲートウェイ機能の強化



## 全国の道路の規制情報は、日本道路交通情報センターが便利です。

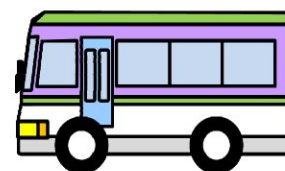
秋の行楽シーズンを迎え車で出かけられる機会も増え、また、これから年末年始に向け県外への移動の際にも道路の交通情報は欠かせません。

日本道路交通情報センターでは、島根県を含め全国の道路の交通規制情報を提供しており、電話やインターネットで道路の現況についての情報を知ることができますのでご紹介します。

### ○電話によるお問い合わせ

- ・中国地方の高速情報 050-3369-6769
- ・島根県の情報 050-3369-6632
- ・携帯電話短縮ダイヤル #8011 (携帯電話・PHS専用。最寄りセンターのオペレーターが対応)
- ・その他の地域の電話番号は電話番号案内 Web サイトで知ることができます。

URL : <http://m.jartic.or.jp/>



### ○PC等による情報収集

URL : <http://www.jartic.or.jp/> (または「日本道路交通情報センター」で検索)

The screenshot shows the JARTIC website interface in Microsoft Internet Explorer. The main content area features a map of Japan with various regions highlighted in different colors, each corresponding to a specific highway status. A navigation menu at the top includes links for '渋滞予測' (Traffic Prediction), '各種道路交通情報' (Various Road Traffic Information), 'よく頂くご質問' (Frequently Asked Questions), '出版・情報サービス' (Publication/Information Services), '関連リンク集' (Related Links), 'JARTICについて' (About JARTIC), and '警察庁' (Ministry of Police). Below the map, there are instructions on how to use the site: '高速道路の状況' (Highway Status), '都市高速道路の状況' (Urban Expressway Status), and '一般道路の状況' (General Road Status). A '全国版高速道路' (National Expressway) button is also visible. The footer contains the text: '道路交通情報のお問い合わせは 【全国共通ダイヤル】 050-3369-6666 【携帯'.